

第204回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成26年12月4日(木) 16:00~17:30

2 開催場所 エフエム栃木 3階 第2スタジオ

3 委員の出席 委員総数 7人
出席委員数 7人

(1) 出席委員の氏名 片山 貴之 (委員長)
古磯 勝子 (副委員長)
青木 敬信
早川 富美子
長 茂男
君島 理恵
畠山 大

(2) 放送事業者側出席者 大森 敏秋 (代表取締役社長)
佐藤 英雄 (常務取締役 営業・事業部長)
佐藤 望 (放送部長)
古寺 雄史 (放送部課長)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) その他
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

11月24日に放送した特別番組「コスモアースコンシャスアクト クリーンキャンペーン in 矢板」について、試聴と意見交換を行った。

事業者

JFN38局で毎年展開している「コスモアースコンシャスアクト・クリーンキャンペーン」。
今年弊社は10月26日に矢板市南工業団地周辺で244名の参加者とともに清掃活動をおこないました。

その模様をメインに、さらに、今夏、JFN各局のパーソナリティとリスナーが参加した富士山清掃の様子と合わせた特別番組を放送しました。

【 番 組 の 試 聴 】

委員：

参加者の声でのタイトルコールや清掃中の子供の声もあり、今年もたくさんの人が参加して、清掃活動をしたことがよく分かった。

また、今年度のナビゲーターを務めた“ひこやん”は、富士山清掃の経験からの一連の活動に参加して感じた想いをこの番組の中でも懸命に伝えようとしていて、好感が持てた。

委員：

矢板での清掃活動を、“ひこやん”が事細かに情景描写していたのは良いことなのだが、それを自分ひとりで説明し切ってしまうことが多かったため、現場の臨場感があまり伝わらなかった。

もっと、清掃中の参加者と話しながら、その会話を通して清掃の様子を伝える工夫がほしかった。

委員：

“ひこやん”は、普段の放送と違って、力が入り過ぎていて、喋りが堅い感じになっていた。

もっと自然体で、彼の持ち味である明るいキャラクターの一面も見せつつインタビューをすれば、参加者の親子などからも、少し違った言葉を引き出せたかもしれないと思った。

委員：

参加者へのインタビューでは、どこから来たかだったり、名前など、基本的な情報が聞き出せていないものがあったりと、インタビュー相手をイメージ出来る情報をきちんと伝えてほしかった。

また、リンゴ狩りの感想も、答えがほぼ「おいしいです」の一辺倒だった。ここは、リンゴの味だけを聴いて終わるのではなく、その日おこなった清掃活動への感想も併せて尋ねるべきだった。

参加者の清掃活動後に感じていただろう達成感を、もっとこの番組の中で伝えてほしかった。

委員：

富士山清掃の様子を伝えたパートでは、野口さんが富士山の清掃を始めた経緯など、その話に、とても説得力があった。

しかし、それゆえ、本題であるはずの、矢板での清掃活動の印象が薄れてしまった。

事業者：

JFNの番組制作上のレギュレーションで、富士山清掃のパートをある程度取り上げねばならなかった。本放送では、きょう試聴したものと違い、メインの矢板編がもう少し長い尺を取って放送をしている。

委員：

富士山清掃のパートは、野口さんの話と、今年のナビゲーターの“ひこやん”の感想だけでよいのでは？

一般の清掃参加者へのインタビューは、矢板パートと内容がかぶっている。

委員：

清掃結果の伝え方について、ゴミの総量は何リットルと言われても、その数字が大きすぎて、イメージすることが出来なかった。

大型トラックで何台分とか、何か身近なものに換算して、その数字を説明してほしかった。

委員：

番組のまとめパートで、“ひこやん”が語った「“エコ”とは、自然に甘えないこと」との言葉に、とても共感し、感銘を受けた。

また、意気込みはあれども、この番組では若干空回りしていた感があった彼だが、それでも、感じた熱い想いを懸命に伝えようとしていた。

その姿勢は評価に値するものであり、今後の彼の喋り手としての成長に期待したい。

委員：

数年前の番組審議委員会でも、この企画の特番を試聴したが、リスナーのボランティア精神を引き出し、参加してみようという気にさせる内容で、とても素晴らしい企画だと思う。

ただ、やや重めのテーマであり、また、今回の清掃活動ならではの素材があった訳でなく、番組としては、盛り上がりには欠けたものではあった。

だが、メディアとしてこのような企画・番組を通して、社会に対してメッセージを発信し続けていくことに意義があると思う。

今後も引き続き、毎年続けていってほしい。

(以上)

(2) その他

なし

(3) 次回開催日程について

次回の開催を1月8日(木)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日

なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

(1) 放送 12月28日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内

(2) 書面 本社事務所に備え置き

(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項

なし